

2023年5月24日
イオンリテール株式会社

快適で便利な買物体験の提供と生産性向上を同時に実現 2023年度、食品レジの「スマートモデル」を300店に拡大 どなたでも安心して使える「サポートレジ」もあわせて展開拡大

イオンリテールは2023年度、食品レジにおける最新の「スマートモデル」を「イオン」「イオンスタイル」など約300店舗に展開拡大します。



スマートモデルの事例（イオンスタイル新豊川）



会計時に従業員が介助を行える「サポートレジ」

国内におけるキャッシュレス決済額はこの5年で約1.5倍に拡大し、小売業においてはセルフレジの展開が急拡大する一方、現金対応や接客対応、会計時に手助けが必要な方へのサポートは将来的にも必要と推測され、当社はこうした方への対応を重視しています。

イオンリテールでは、2020年に展開を始めた「レジゴー」と並行して、精算のみご自身で行う「セミセルフレジ」の展開を拡大してまいりました。これにより、レジ精算の効率化と混雑緩和（レジ待ち時間の短縮）を実現しています。

2022年には「イオンスタイル天王町」にて「セルフレジ」を含めた新たなレジ配置モデルを試行し、以降複数の店舗で検証を行った結果、さまざまなお支払いスタイルに対応しながら、導入前に比べ生産性を30%改善できたことから、食品レジの「スマートモデル」として今年、300店舗に展開拡大します。

当社は今後、衣料や暮らしの品においてもレジ改革をすすめ、レジ業務からお客さまのサポートや接客業務へシフトすることで、より安心して、快適・便利にご利用いただける環境を実現してまいります。

【食品レジ「スマートモデル」の概要】

スケジュール：2024年2月末までに約300店舗に展開拡大

展開店舗：関東・北陸信越・東海・近畿・中四国の「イオン」「イオンスタイル」など

導入効果：レジ効率 30%向上※¹

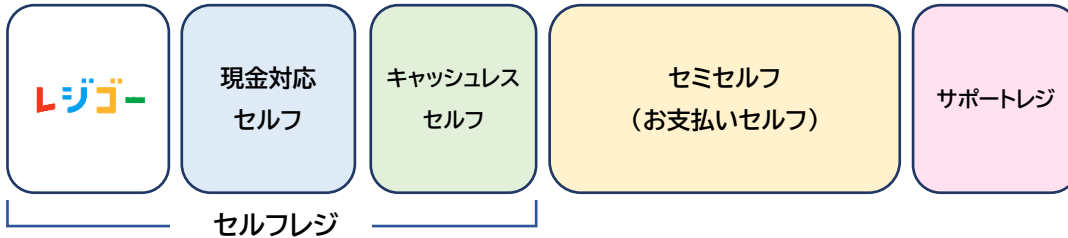
人時創出 約5,000時間/年（1店舗あたり）※¹

※¹：実証店舗における「スマートモデル」導入前との比較値の平均。
レジ効率はレジ投入人時あたり食品売上高の改善度で算出。

【レジ構成について】※2

当社は店の売上規模ごとに「スマートモデル」のパターンを設定しています。「スマートモデル」は当社が2020年以降採用している「レジゴー」と「セミセルフレジ」2種類での展開と比べ、省スペース化も実現しており、創出したスペースは催事売場等で品揃えの拡充につなげています。

<「スマートモデル」の展開イメージ>



【レジ種類別の表示について】



レジ種類の増加と合わせて、従来の黒一色でのレジ番号の案内から、Z世代や女性参画でのアイデア出し・選定を経て、色別で分かりやすい表示に変えています。

【会計時に介助を行える「サポートレジ」について】

当社にご高齢のお客さまや目の不自由なお客さまなど、会計時に手助けが必要な方をサポートする「サポートレジ」を展開しています。このたびの「効率化モデル」の展開とあわせて、約240店舗※3で展開する「サポートレジ」を今後、300店舗超へ展開拡大してまいります。



※2：店舗により、記載のレジを網羅しない場合もございます。

※3：2023年4月末時点。